

国内製造ワインの概況

(平成28年度調査分)

果実酒の製造免許を有し、ぶどう（濃縮果汁を含む。以下このページにおいて同じ。）を原料とした果実酒を製造している製造業者を対象にアンケート調査（果実酒製造業者実態調査）を行い、その集計結果を取りまとめた。

○ 調査対象期間及び集計単位

(1) 売上高等の経営内容

法人については平成29年1月1日直前終了事業年度分（1事業年度が6か月の場合は2事業年度）、個人については平成28年分とし、事業者ごとのデータを基に集計。

(2) 製成・移出数量、原料受入数量等の生産・出荷の内容

平成28会計年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）とし、製造場ごとのデータを基に集計。

○ 各表の注意事項

(1) 本資料では、酒税法上の果実酒を「果実酒」、果実酒のうちぶどうを原料としたものを「ワイン」と表記している。

(2) 各表の計数は、単位未満を四捨五入しているため、表の内容と計又は合計が一致しない場合がある。

(3) 各表の年数は、特に記載のない場合、会計年度を示している。

(4) 各表の「×」は、情報を保護する観点から数値を秘匿したものである。

平成29年11月

国税庁課税部酒税課

果実酒製造業者実態調査の概要

		平成26年度調査分	平成27年度調査分	平成28年度調査分
調査目的		個々のワイン製造業者の経営状況を把握し、ワイン製造業者の企業実態を分析して、国税庁の行う各種の施策を通じて、ワイン製造業の健全な発達に資するため	個々のワイン製造業者の経営状況、ワインの生産実態、ワインの原料であるぶどうの調達状況等、 <u>ワインの製造全般について状況を把握し、これらのデータを集計・分析を行うことによって、国税庁の行う各種の施策の基礎資料とするため</u>	
調査対象者		ワインの製造業者 (試験製造及び期限付免許者を除く。)	ワインの製造業者 (<u>試験製造免許者を除く。</u>)	
調査方法		調査表を調査対象者に配布し、調査対象者が作成した調査表を調査対象者の住所又は本店の所在地の所轄税務署において回収（アンケート調査）		
調査項目		○経営状況 ○ワインの受払状況（業者別） ○ワインの製造状況・原料使用状況（業者別） ○原料の受入状況（業者別） ※ 日本ワインの販売数量を追加	○経営状況 ○経営方針等のアンケート ● <u>ワインの受払状況（製造場別）</u> ● <u>ワインの製造状況・原料使用状況（製造場別）</u> ● <u>原料の受入状況（製造場別）</u> ※ 受払・製造状況に日本ワインの項目を追加	○経営状況 ○経営方針等のアンケート ● <u>ワインの受払状況（製造場別）</u> ● <u>ワインの製造状況・原料使用状況（製造場別）</u> ● <u>原料の受入状況（製造場別）</u> ※ 製成数量の集計方法を変更
調査対象期間		法人：平成26年10月1日直前終了事業年度 個人：平成25年	○の調査項目 法人：平成28年1月1日直前終了事業年度 個人：平成27年 ●の調査項目 <u>平成27会計年度</u> ※ ●の調査項目について、事業年度分又は年分から <u>会計年度分に変更</u>	○の調査項目 法人：平成29年1月1日直前終了事業年度 個人：平成28年 ●の調査項目 平成28会計年度
調査結果	調査対象者数	191者 (平成26年10月1日現在)	261者（280場） (平成28年3月31日現在)	267者（283場） (平成29年3月31日現在)
	回答者数	178者	247者（266場）	231者（244場）
	回答率	93.2%	94.6%	86.5%

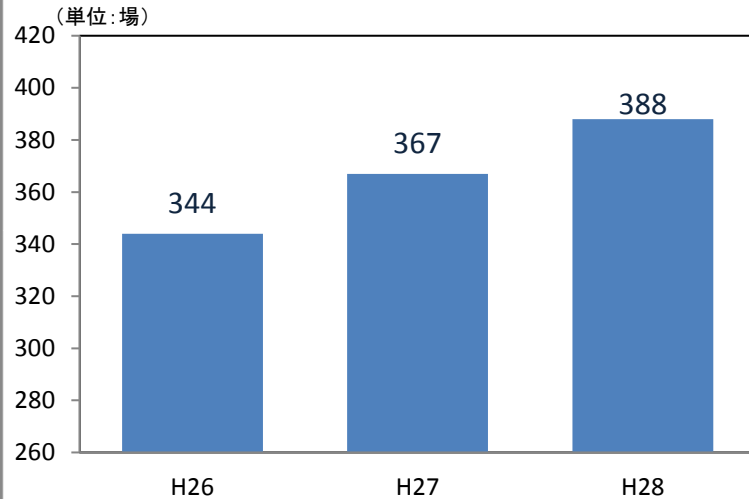
(注) 下線部は、前年度調査からの変更点を示している。

国内製造ワインの概況 目次

1	製造業者の概況	
○	果実酒製造場数の推移	1
○	国内のワイナリー数	1
○	ワイン製造業の業界構造	2
○	国内製造ワインの生産量（生産規模別）	3
○	ワイン製造業の経営状況	4
2	出荷・生産の概況	
○	果実酒の出荷量（課税移出数量）の推移	5
○	日本ワインの出荷量	6
○	果実酒の生産量（製成数量）の推移	7
○	国内製造ワインの使用原料及び生産されたワインの内訳	8
○	日本ワインの種類別生産量及び上位6道県の構成比	9
3	原料用国産ぶどうの概況	
○	ワイン原料用国産ぶどう（赤白上位10品種）の受入数量	10
○	原料用ぶどう品種（白上位10種）の主要産地（ぶどう産地別受入数量）	11
○	原料用ぶどう品種（赤上位10種）の主要産地（ぶどう産地別受入数量）	12
○	主要ぶどう産地（上位6道県）における品種別数量	13
○	都道府県別ワイン原料用国産ぶどうの受入状況	16
○	ワイン原料用国産ぶどうの受入形態別受入数量構成比	17
	(参考)	
1	果実酒の都道府県ランキング（上位10位）	18
2	果実酒製造業者実態調査の都道府県別対象者（場）及び回答者（場）数	19
3	ワインの都道府県別生産量・出荷量	20
4	都道府県別のぶどう品種別受入数量の明細	21
5	ぶどう産地別 製造場所在地別 原料ぶどう受入量（国税局管轄区域別）	22
6	ぶどう品種別受入形態の明細及び主要産地	23
7	ワイン製造業者の製成数量規模別経営状況及び製成移出状況	24

1 製造業者の概況

○ 果実酒製造場数の推移



(注) 各年度末(3月31日)現在における試験製造免許場を除いた果実酒製造場数である(国税庁統計年報書による。)

(参考) 各年(1月~12月)における新規免許付与件数

(単位:件)

免許区分	平成26年	平成27年	平成28年
新規	19 (6)	34 (8)	31 (7)
法人成り等	1 (1)	2 (0)	3 (0)
移転	1 (1)	3 (2)	0 (0)
合計	21 (8)	39 (10)	34 (7)

(注)1 国税庁ホームページに掲載されている酒類等製造免許の新規取得者名等一覧(www.nta.go.jp/shiraberu/senmonjoho/sake/menkyo/shinki/seizo/02/zenkoku.htm)による。

2 括弧書きは付与した免許のうち試験免許の件数である。

国内のワイナリー数 283場

平成29年3月31日現在における果実酒製造場388場のうち、ワインを製造しており、平成28年度においてワインの生産又は出荷の実績がある製造場の数である。

都道府県別に見ると、上位5道県で全体の約6割を占めている。

(都道府県別のワイナリー数)

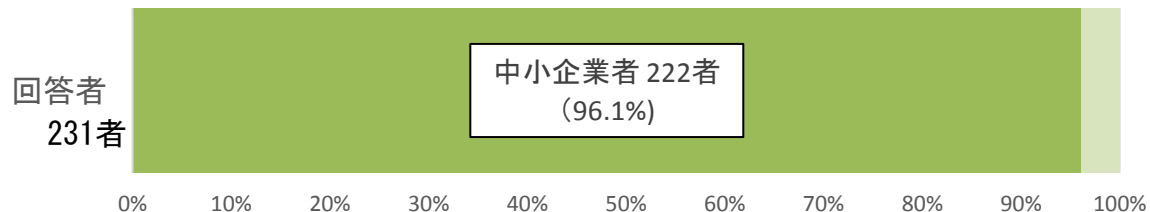
順位	都道府県	ワイナリー数	順位	都道府県	ワイナリー数
1	山 梨	81	24	兵 庫	2
2	北 海 道	34	24	宮 城	2
2	長 野	34	24	富 山	2
4	山 形	14	24	石 川	2
5	新 潟	10	24	滋 賀	2
6	大 阪	7	24	京 都	2
6	栃 木	7	24	鳥 取	2
8	岩 手	6	24	熊 本	2
8	岡 山	6	24	神 奈 川	2
10	福 島	5	34	福 岡	1
10	広 島	5	34	福 井	1
10	大 分	5	34	三 重	1
13	秋 田	4	34	和 歌 山	1
13	群 馬	4	34	山 口	1
13	埼 玉	4	34	香 川	1
13	宮 崎	4	34	愛 媛	1
13	千 葉	4	34	高 知	1
18	愛 知	3	34	長 崎	1
18	静 岡	3	34	鹿 児 島	1
18	島 根	3	34	沖 縄	1
18	青 森	3	45	奈 良	0
18	茨 城	3	45	徳 島	0
18	岐 阜	3	45	佐 賀	0
24	東 京	2	全 国 計		283

(注) 果実酒製造業者実態調査による。詳細は参考2を参照。

○ ワイン製造業の業界構造

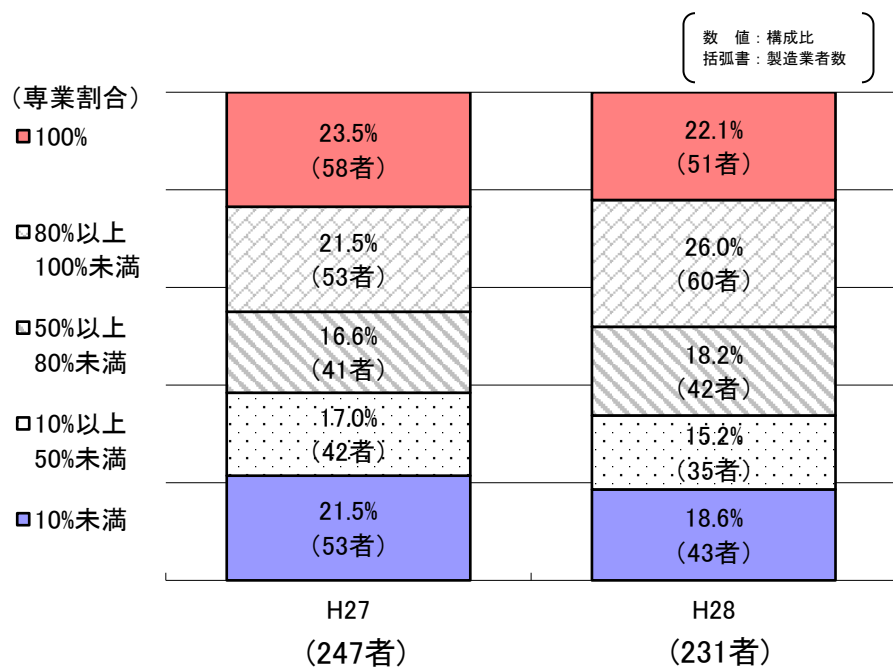
実態調査に回答のあったワイン製造業者の96.1%が中小企業者であり、専門割合（総売上高に占めるワインの売上高の比率）100%の者は全て生産量300kl未満の者である。

○ 中小企業割合



(注) 中小企業者とは、資本金3億円以下の法人並びに従業員300人以下の法人及び個人をいう。
(中小企業基本法第2条第1項第1号)

○ 専門割合別構成比



○ 専門割合別生産規模別業者数

単位：者

生産量	専門割合					合計
	100%	80%以上100%未満	50%以上80%未満	10%以上50%未満	10%未満	
100kl未満	50	39	35	31	35	190
100kl以上300kl未満	1	12	5	3	2	23
300kl以上1,000kl未満		8			3	11
1,000kl以上		1	2	1	3	7
合計	51	60	42	35	43	231

○ 国内製造ワインの生産量（生産規模別）

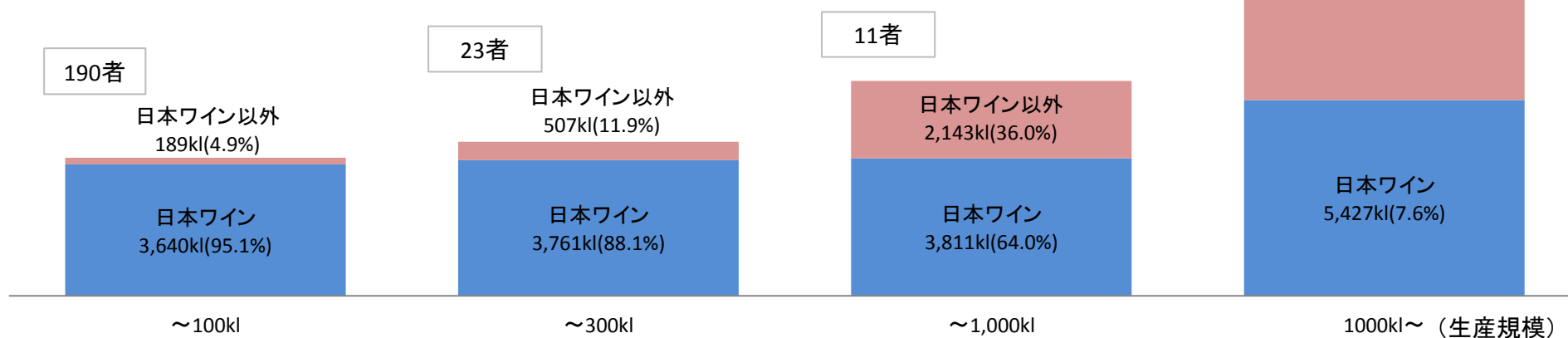
これまで、使用した原料の内訳を表していたが、日本ワインの生産量を記載項目に加えたため、集計値を変更している。

（単位：者、kl）

生産規模	～100kl	～300kl	～1,000kl	1,000kl～	総数
企業数 （構成比）	190 (82.3%)	23 (10.0%)	11 (4.8%)	7 (3.0%)	231 (100.0%)
生産量 （構成比）	3,829 (4.5%)	4,268 (5.0%)	5,954 (6.9%)	71,743 (83.6%)	85,794 (100.0%)
内 日本ワイン （構成比）	3,640 (21.9%)	3,761 (22.6%)	3,811 (22.9%)	5,427 (32.6%)	16,638 (100.0%)

■ 日本ワイン以外

■ 日本ワイン



○ ワイン製造業の経営状況

○ ワイン製造業の売上高等の推移（注1）

原則として、製造者以外の者又は他の酒類の製造者が新たに果実酒の製造免許を受ける場合には、3年間は、免許に期限が付される（期限付免許者）。

期限付免許者及び期限付免許者以外の経営状況（1者当たりの平均）の推移は次のとおり。

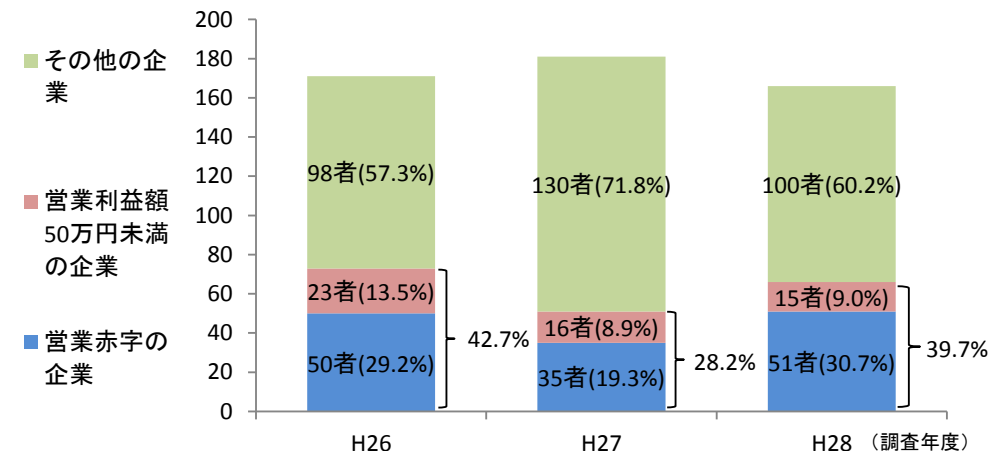
（単位：者、百万円）

調査年度	企業数	売上高	売上総利益	営業利益	営業利益率
期限付免許者	H27	(2,753)	(645)	(23)	
		61	45	11	0
期限付を 除く	H27	(1,220)	(483)	(△33)	
		59	21	8	△1
期限付を 除く	H27	(25,518)	(11,274)	(2,012)	
		181	141	62	11
期限付を 除く	H28	(26,987)	(11,446)	(1,687)	
		166	163	69	10
H27 合計	242	(28,271)	(11,919)	(2,035)	
		117	49	8	6.8%
H28 合計	225	(28,207)	(11,929)	(1,654)	
		125	53	7	5.9%

（注）1 経営状況は、調査対象期間における製成数量の上位5者及び資本関係のある販売担当会社1者の計6者を除き、ワイン製造業に係る計数を集計した（以下このページにおいて同じ。）。

2 括弧書は回答者合計である。

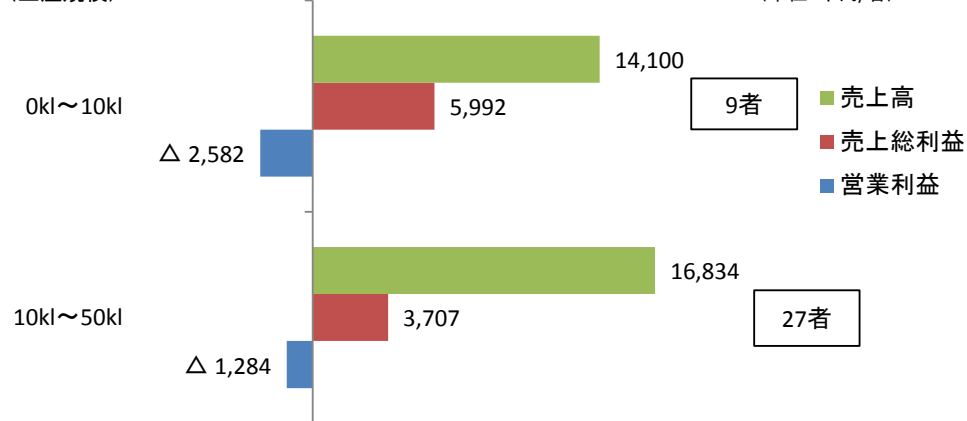
○ ワイン製造業の営業赤字及び営業利益額50万円未満の企業数の推移（期限付免許者を除く）



○ 期限付免許者のうち免許付与3年目までの者の経営状況（1者当たりの平均）

（生産規模）

（単位：千円/者）

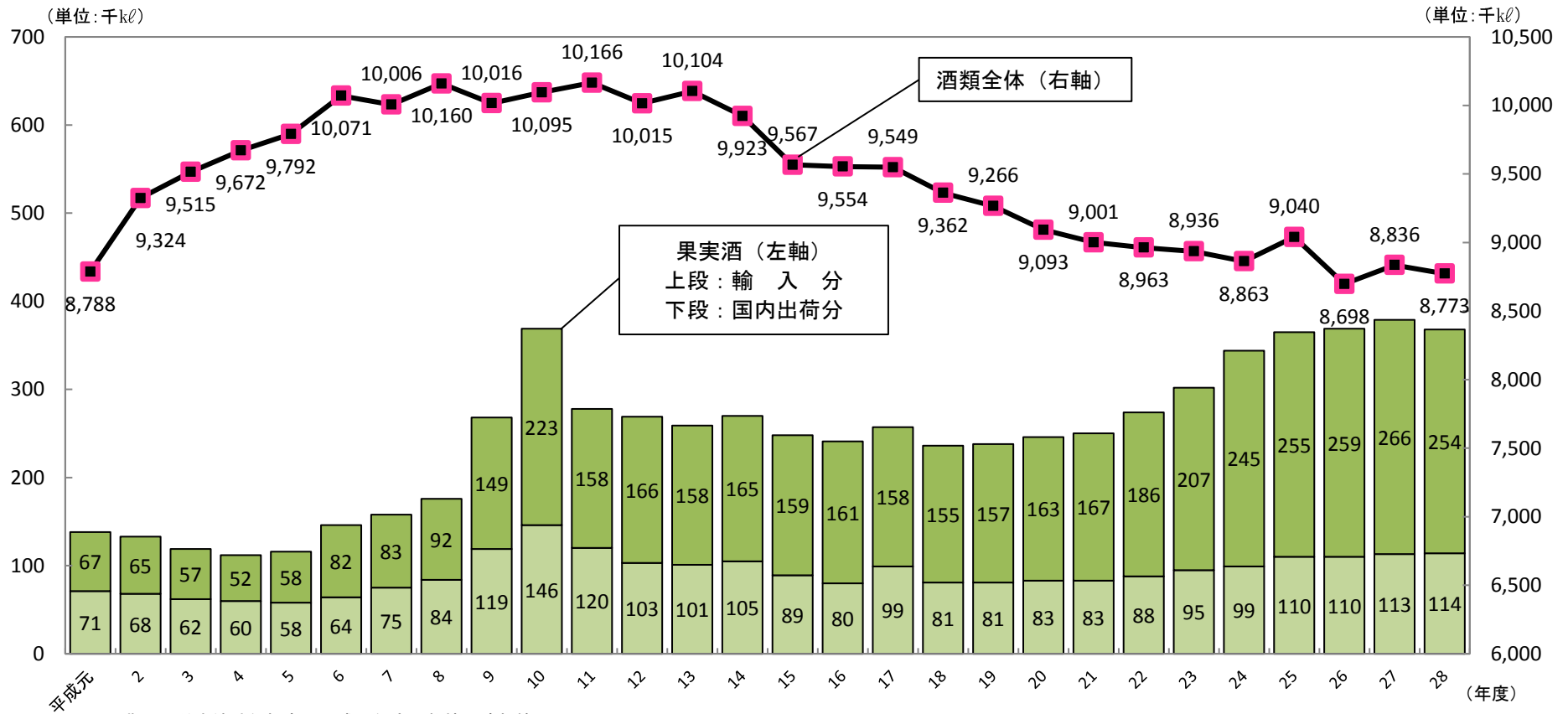


2 出荷・生産の概況

○ 果実酒の出荷量（課税移出数量）の推移

酒類全体の課税移出数量が減少傾向のなか、果実酒は増加傾向にある。

果実酒の課税移出数量（輸入＋国内出荷）は10年ぶりの減少となったが、国内出荷量は増加した。



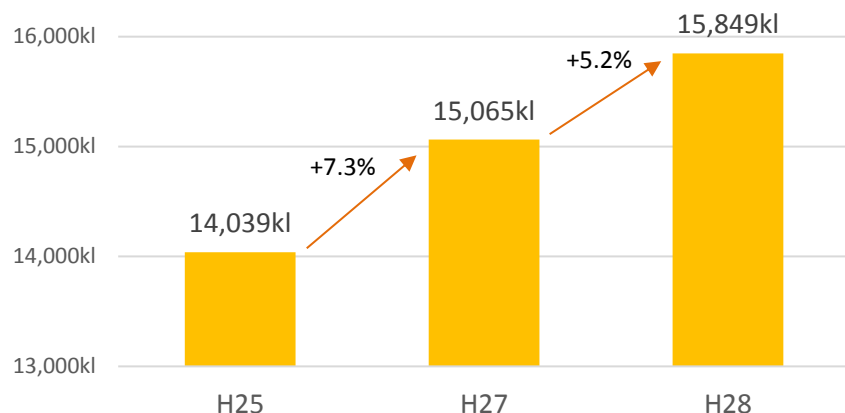
○ 日本ワインの出荷量

日本ワインの出荷量は年々増加しており、平成28年度は前年比5.2%の増加。

国内市場における日本ワインの構成比は4.8%であり、前年度の3.7%から1.1%増加。

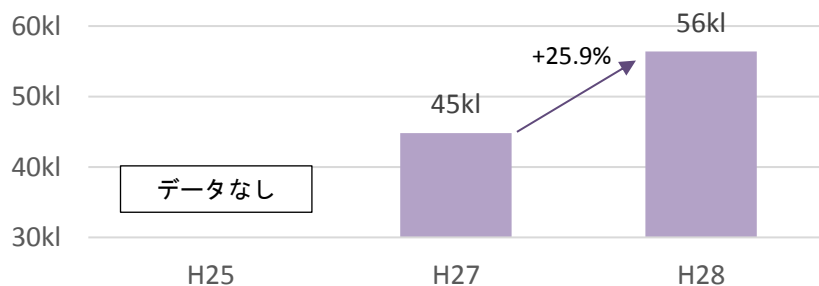
平成27年度から調査項目に加えた日本ワインの輸出量は、平成28年度において前年比25.9%の増加。

○ 日本ワインの出荷量の推移



(注) 果実酒製造業者実態調査による課税移出数量である。

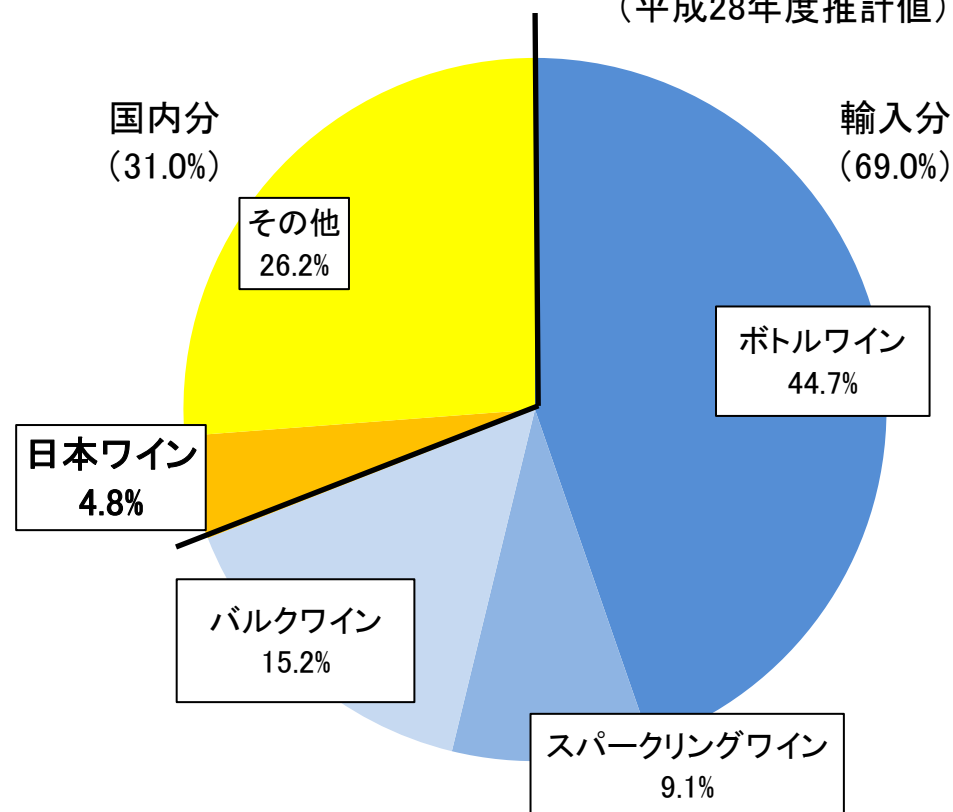
○ 日本ワインの輸出量の推移



(注) 果実酒製造業者実態調査による。

○ 国内市場におけるワインの流通量の構成比

(平成28年度推計値)



(注) 1 国内分・輸入分の構成比は、国税庁統計年報書における果実酒の課税数量比である。

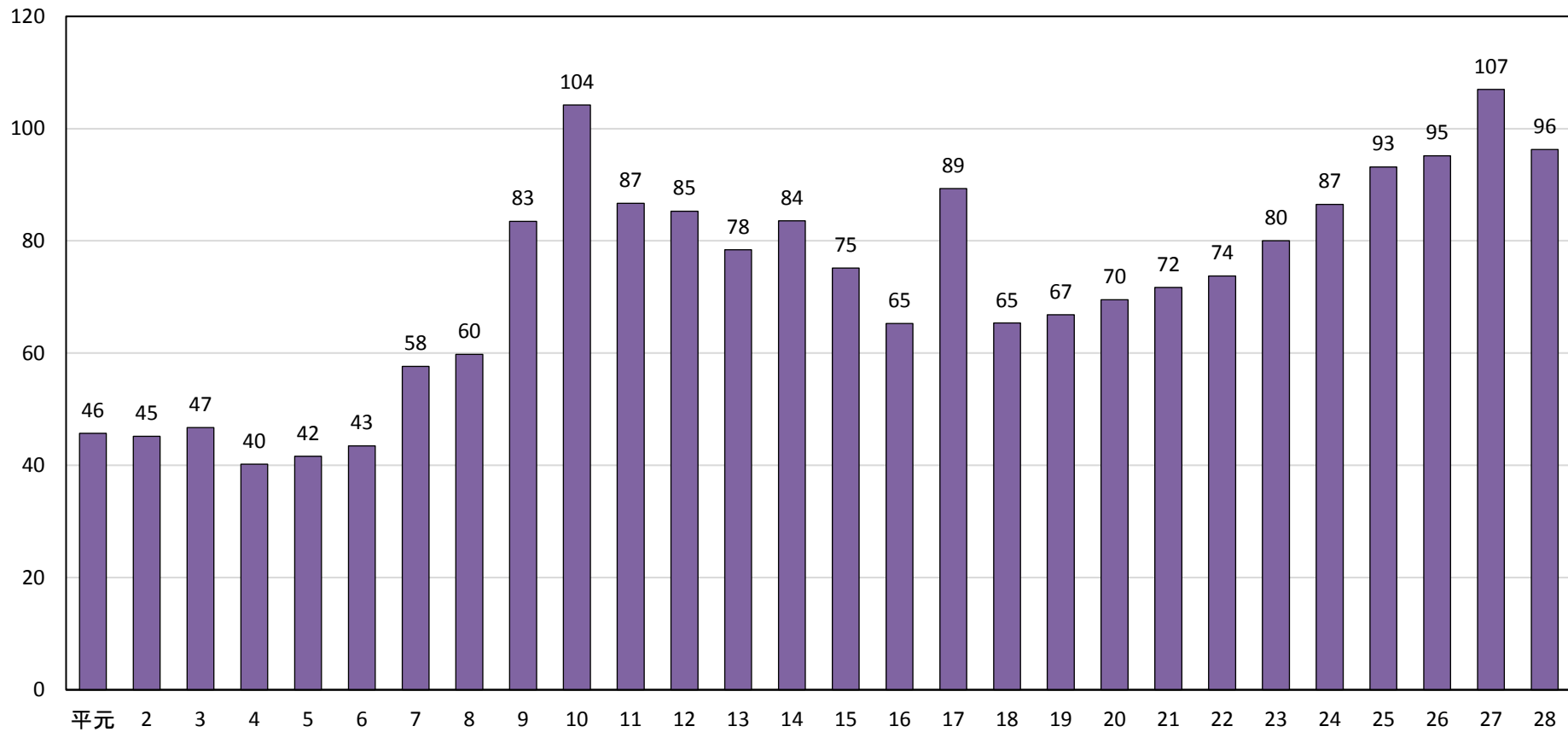
2 輸入分の内訳は、財務省貿易統計の輸入数量比である。

3 国内分の構成割合は、果実酒実態調査を基に推計している。

○ 果実酒の生産量(製成数量)の推移

果実酒の生産量は長期的には増加傾向にあり、平成27年度には平成元年以降で最大(107kl)となった。
平成28年度は前年度よりも減少したものの、平成26年度(95kl)を超える高い水準にある。

(単位:千kl)

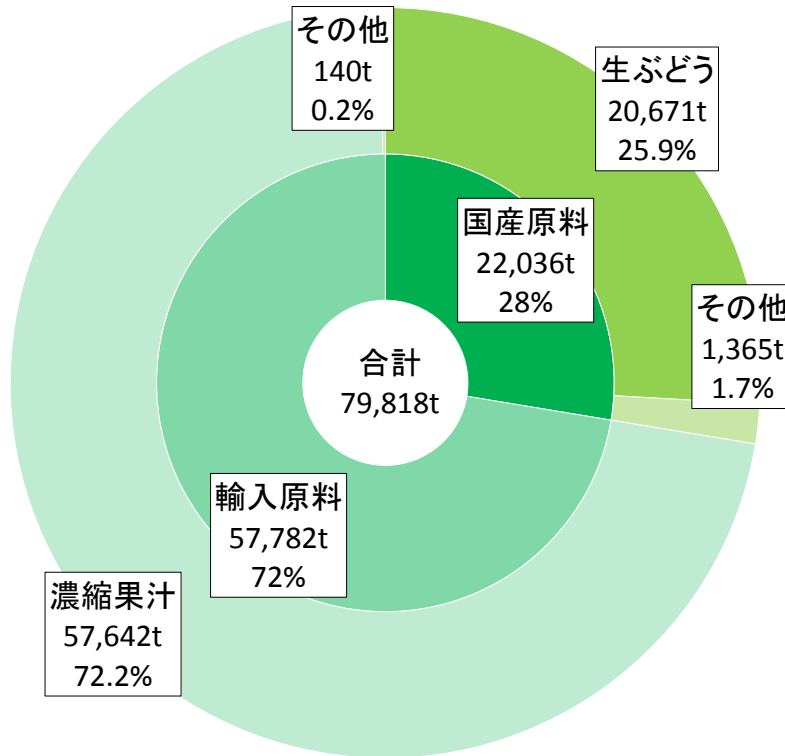


(出典) 国税庁統計年報書(平成28年度の数値は速報値)

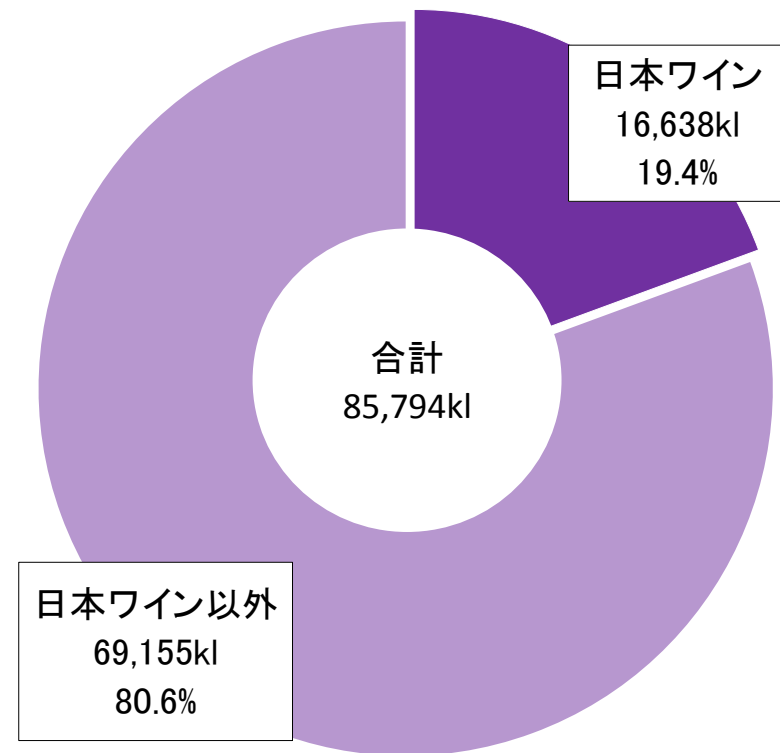
○ 国内製造ワインの使用原料及び生産されたワインの内訳

国内製造ワインの生産量構成比をみると、日本ワインは19.4%であり、前年度の18.4%から1.0%の増加。

○ 国内製造ワインの使用原料構成比



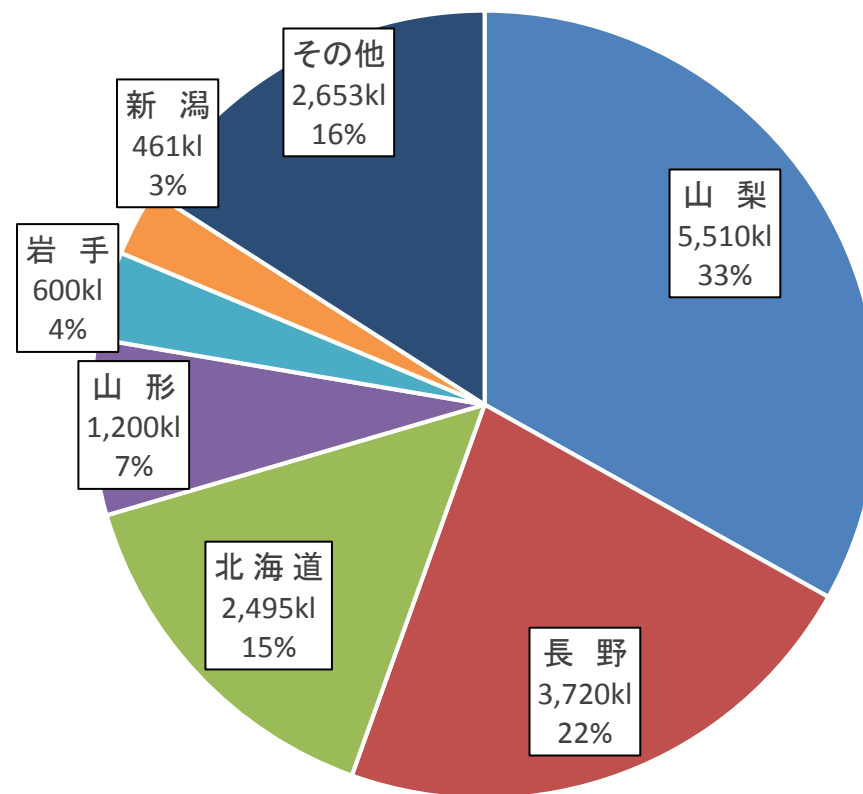
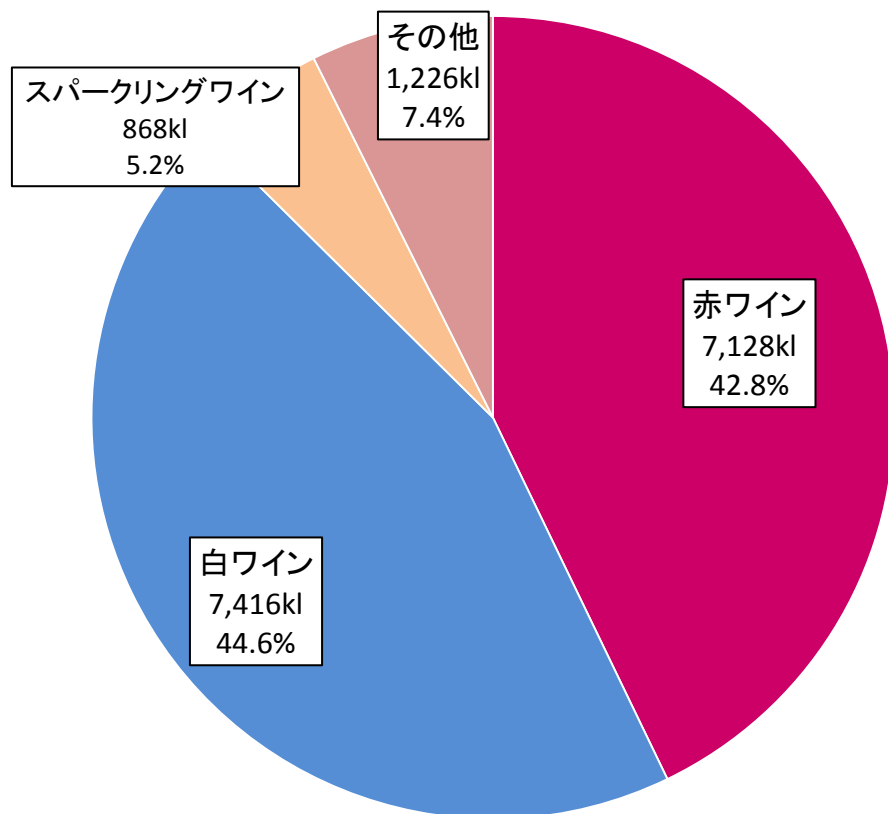
○ 国内製造ワインの生産量構成比(日本ワイン)



(注) 果実酒製造業者実態調査に回答のあった製造場のワインの生産量の集計値であり、7ページの生産量とは一致しない。

○ 日本ワインの種類別生産量及び上位6道県の構成比

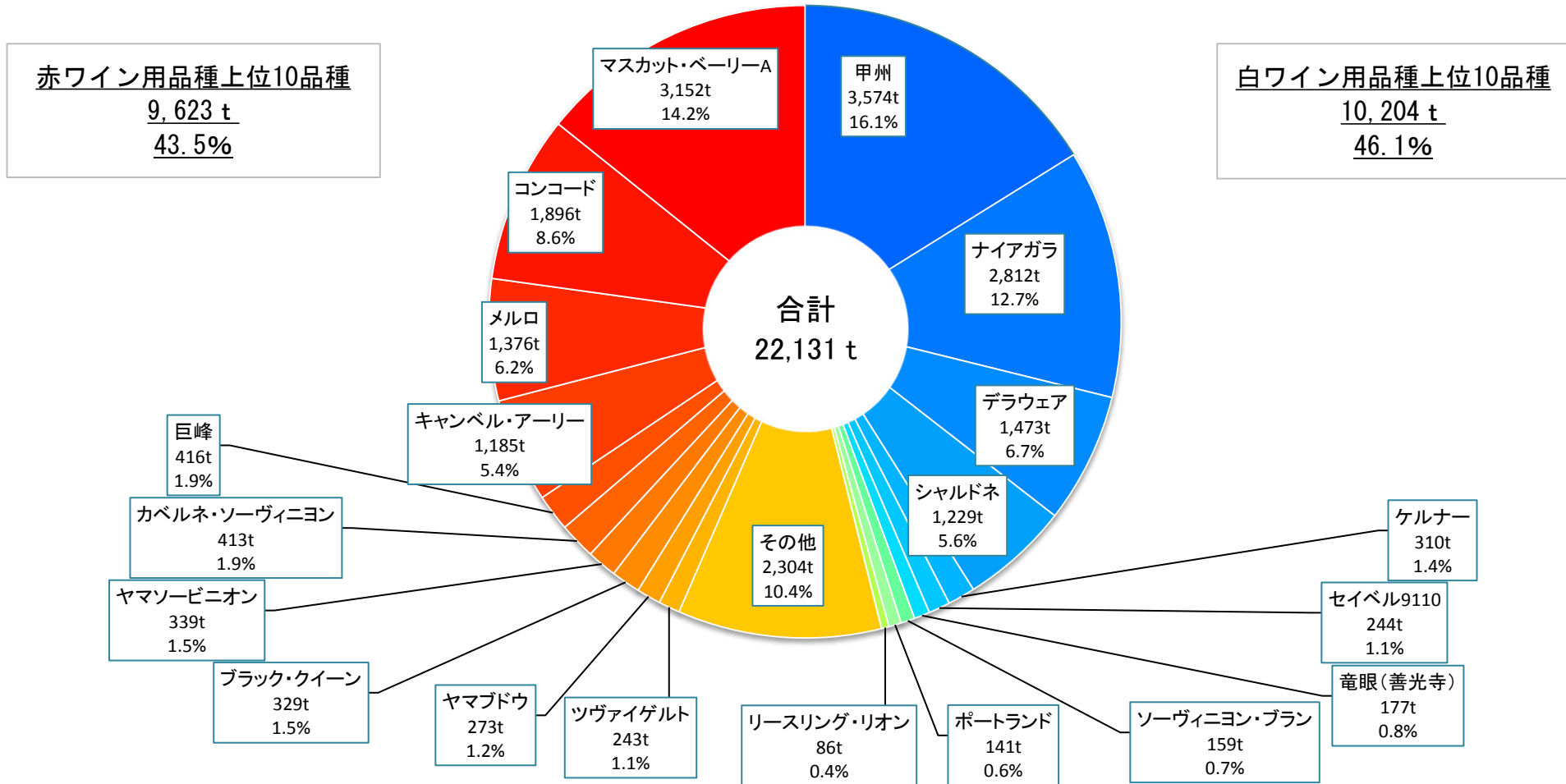
日本ワイン生産量 16,638kl



(注) 果実酒製造業者実態調査による。詳細は参考3を参照。

3 原料用国産生ぶどうの概況

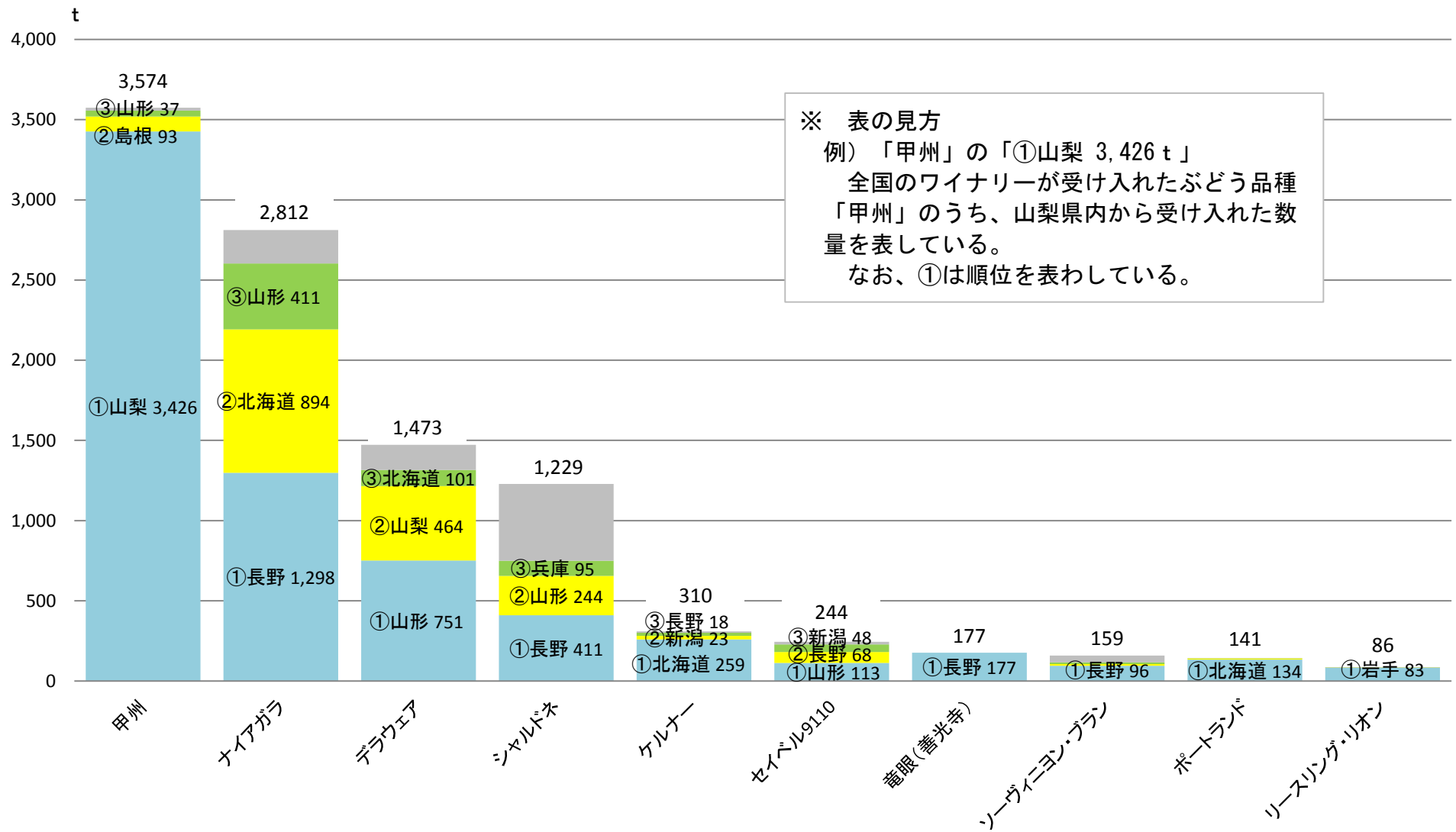
○ ワイン原料用国産生ぶどう(赤白上位10品種)の受入数量



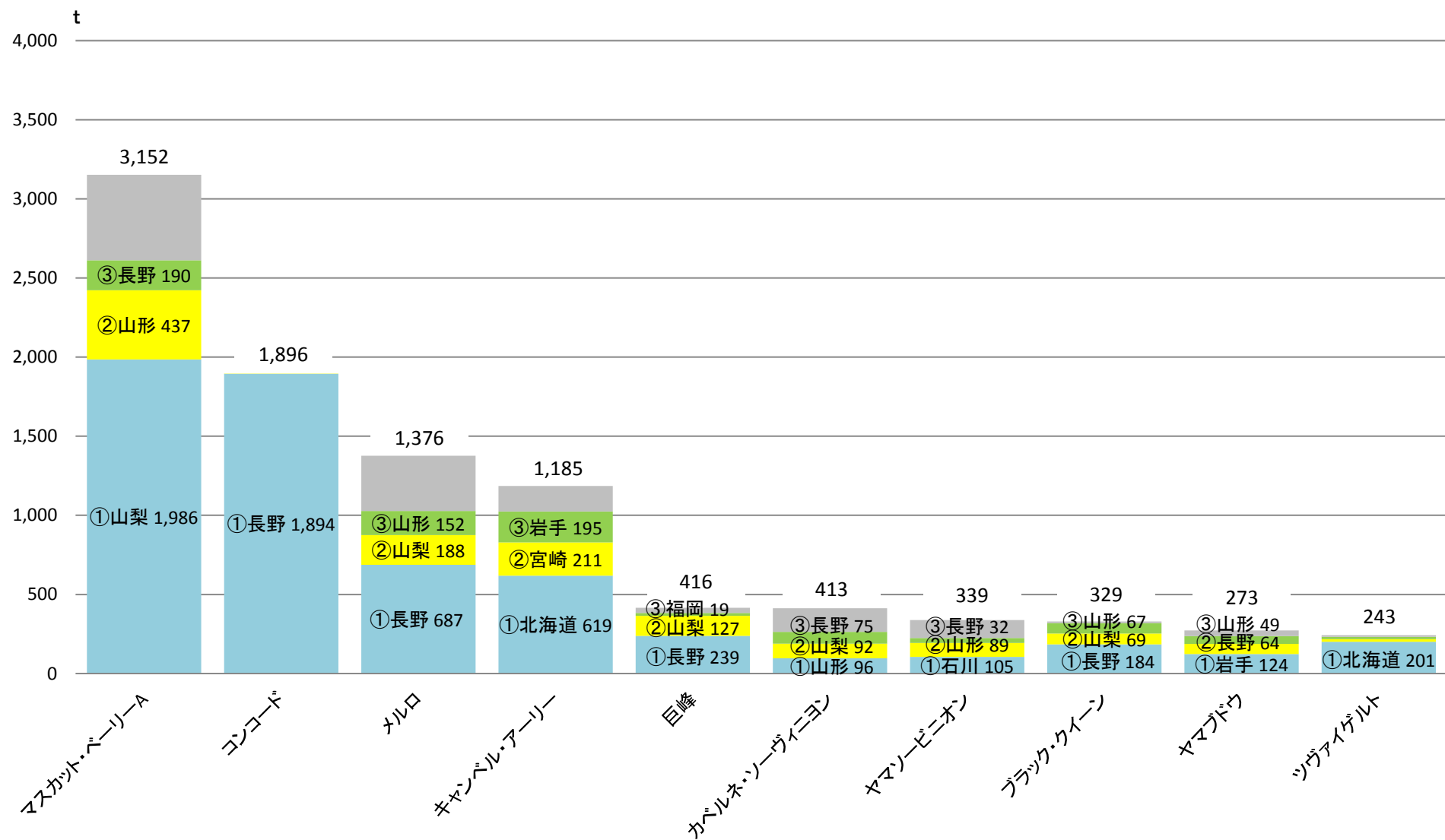
(注) ワインの原料とするために受け入れた国産生ぶどうの品種別数量の集計値であり、実際にワイン原料に使用した数量とは符合しない。

※ 国産生ぶどうのワイン原料使用量 20,671t

○ 原料用ぶどう品種(白上位10種)の主要産地(ぶどう産地別受入数量)



○ 原料用ぶどう品種(赤上位10種)の主要産地(ぶどう産地別受入数量)

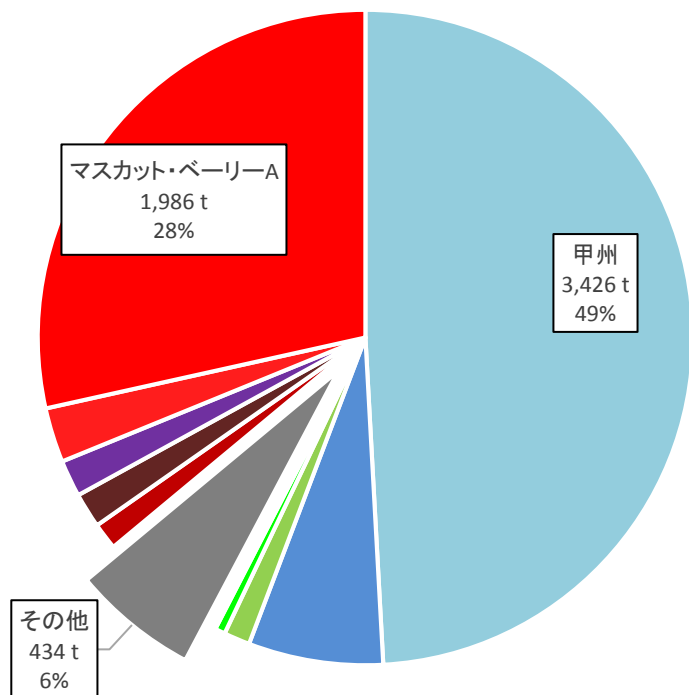


○ 主要ぶどう産地(上位6道県)における品種別数量 ①

山梨県(合計 6,973t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	1,985.6	28.5%
メルロ	188.1	2.7%
巨峰	126.5	1.8%
アジロンダック	120.5	1.7%
カベルネ・ソーヴィニヨン	92.0	1.3%
合計	2,512.6	36.0%

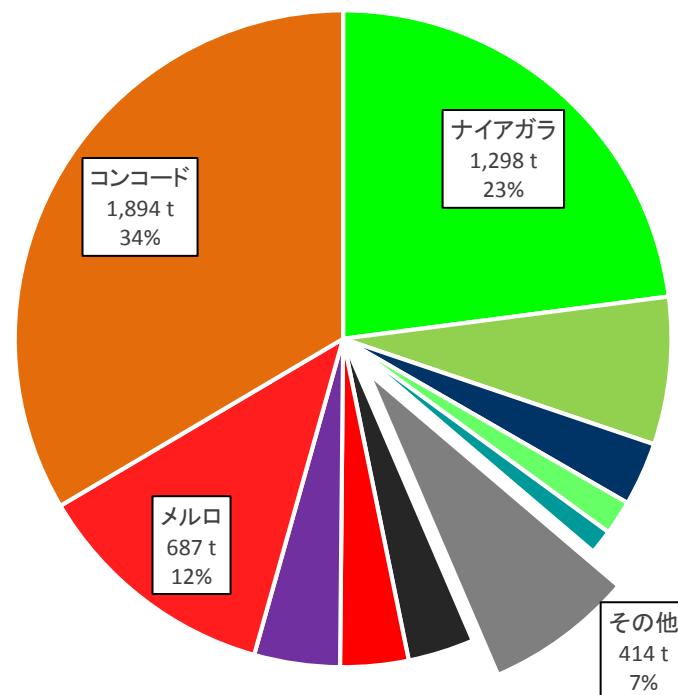
白ワイン用品種	数量(t)	割合
甲州	3,425.8	49.1%
デラウェア	463.7	6.6%
シャルドネ	90.0	1.3%
ナイアガラ	34.9	0.5%
リースリング・フォルテ	12.3	0.2%
合計	4,026.7	57.7%



長野県(合計 5,656t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合
コンコード	1,894.3	33.5%
メルロ	686.6	12.1%
巨峰	238.6	4.2%
マスカット・ベリーA	189.8	3.4%
ブラック・クイーン	183.9	3.3%
合計	3,193.2	56.5%

白ワイン用品種	数量(t)	割合
ナイアガラ	1,297.9	22.9%
シャルドネ	410.6	7.3%
竜眼(善光寺)	176.8	3.1%
ソーヴィニヨン・ブラン	95.6	1.7%
セイベル9110	67.7	1.2%
合計	2,048.6	36.2%

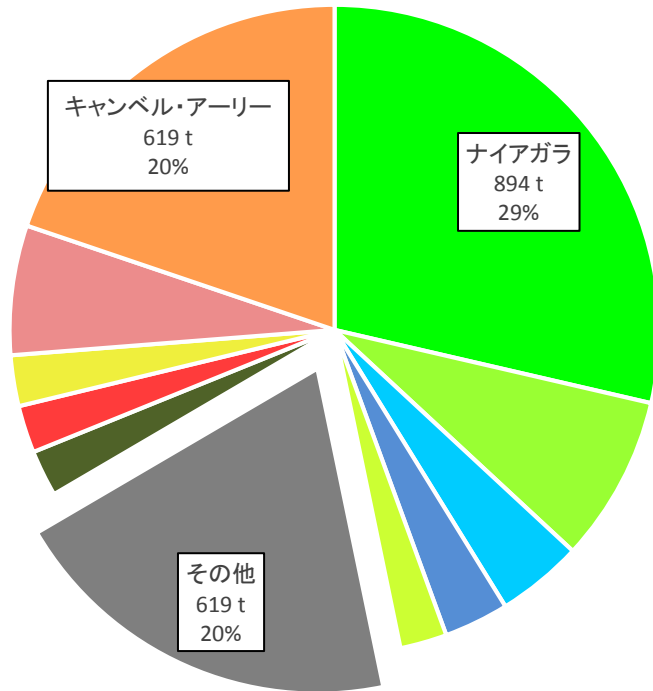


(注) 全国のワイナリーで受け入れられたぶどうのうち、ぶどう生産量上位6県から入荷したぶどうの品種内訳である。

○ 主要ぶどう産地(上位6道県)における品種別数量 ②

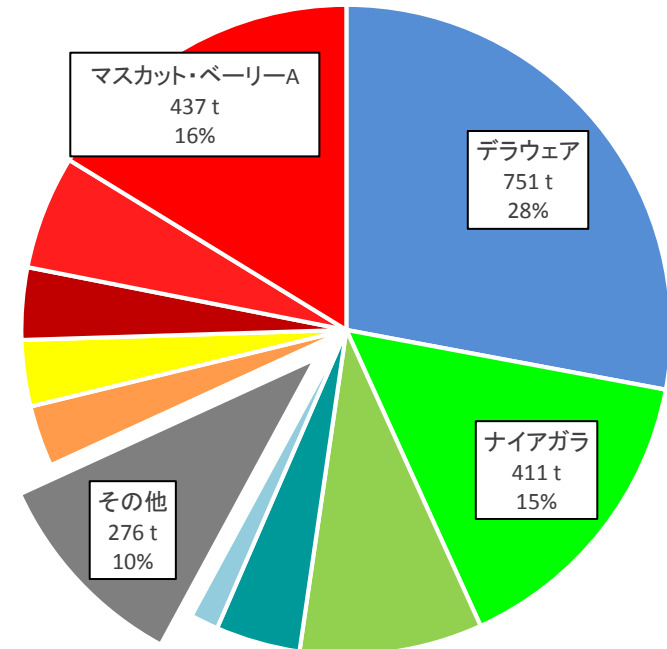
北海道(合計 3,124t)

赤ワイン用品種			白ワイン用品種		
品種	数量(t)	割合	品種	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	618.6	19.8%	ナイアガラ	894.1	28.6%
ツヴァイゲルト	201.4	6.4%	ケルナー	258.8	8.3%
セイベル13053	78.9	2.5%	ポートランド	133.9	4.3%
ピノ・ノワール	73.6	2.4%	デラウェア	100.7	3.2%
山幸	71.9	2.3%	ミュラートルガウ	72.9	2.3%
合計	1,044.4	33.4%	合計	1,460.4	46.7%



山形(合計 2,688t)

赤ワイン用品種			白ワイン用品種		
品種	数量(t)	割合	品種	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	436.7	16.2%	デラウェア	751.1	27.9%
メルロ	152.1	5.7%	ナイアガラ	410.6	15.3%
カベルネ・ソーヴィニヨン	96.4	3.6%	シャルドネ	244.2	9.1%
ヤマソービニオン	88.5	3.3%	セイベル9110	113.0	4.2%
キャンベル・アーリー	81.9	3.0%	甲州	37.4	1.4%
合計	855.6	31.8%	合計	1,556.3	57.9%

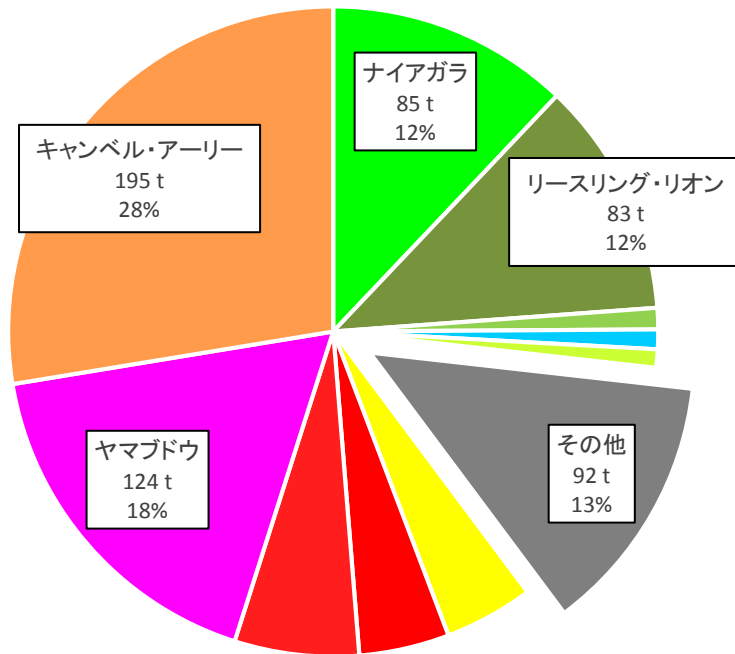


(注) 全国のワイナリーで受け入れられたぶどうのうち、ぶどう生産量上位6県から入荷したぶどうの品種内訳である。

○ 主要ぶどう産地(上位6道県)における品種別数量 ③

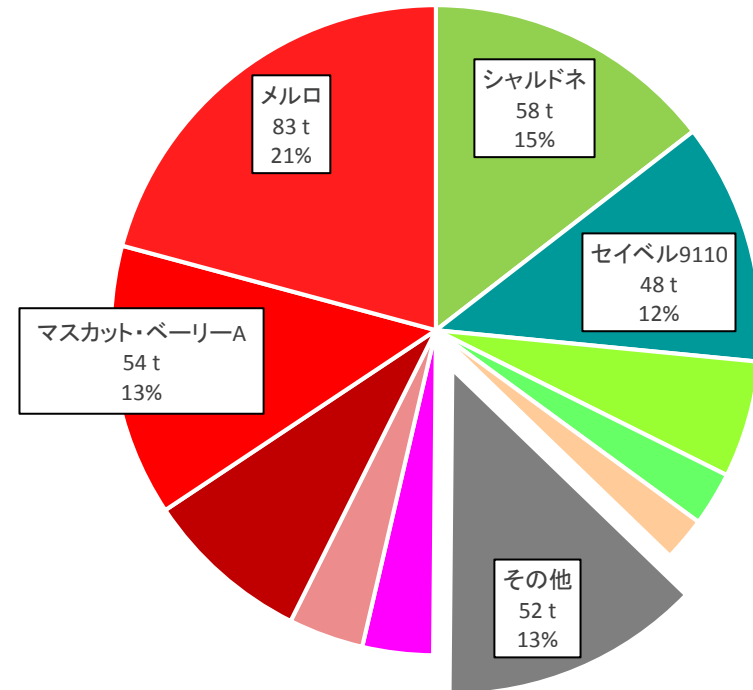
岩手(合計 706t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合	白ワイン用品種	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	194.8	27.6%	ナイアガラ	85.3	12.1%
ヤマブドウ	123.6	17.5%	リースリング・リオン	83.0	11.8%
メルロ	43.7	6.2%	シャルドネ	7.5	1.1%
マスカット・ベリーA	31.7	4.5%	ポルトランド	6.9	1.0%
ヤマソービニオン	31.3	4.4%	ミュラートウルガウ	6.4	0.9%
合計	425.1	60.2%	合計	189.1	26.8%



新潟(合計 399t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合	白ワイン用品種	数量(t)	割合
メルロ	83.1	20.8%	シャルドネ	58.0	14.5%
マスカット・ベリーA	54.0	13.5%	セイベル9110	48.0	12.0%
カベルネ・ソーヴィニヨン	33.1	8.3%	ケルナー	23.2	5.8%
ツヴァイゲルト	14.9	3.7%	ローズ・シオター	10.7	2.7%
ヤマブドウ	14.0	3.5%	レッド・ミルレンニューム	8.7	2.2%
合計	199.1	49.9%	合計	148.6	37.2%



(注) 全国のワイナリーで受け入れられたぶどうのうち、ぶどう生産量上位6県から入荷したぶどうの品種内訳である。

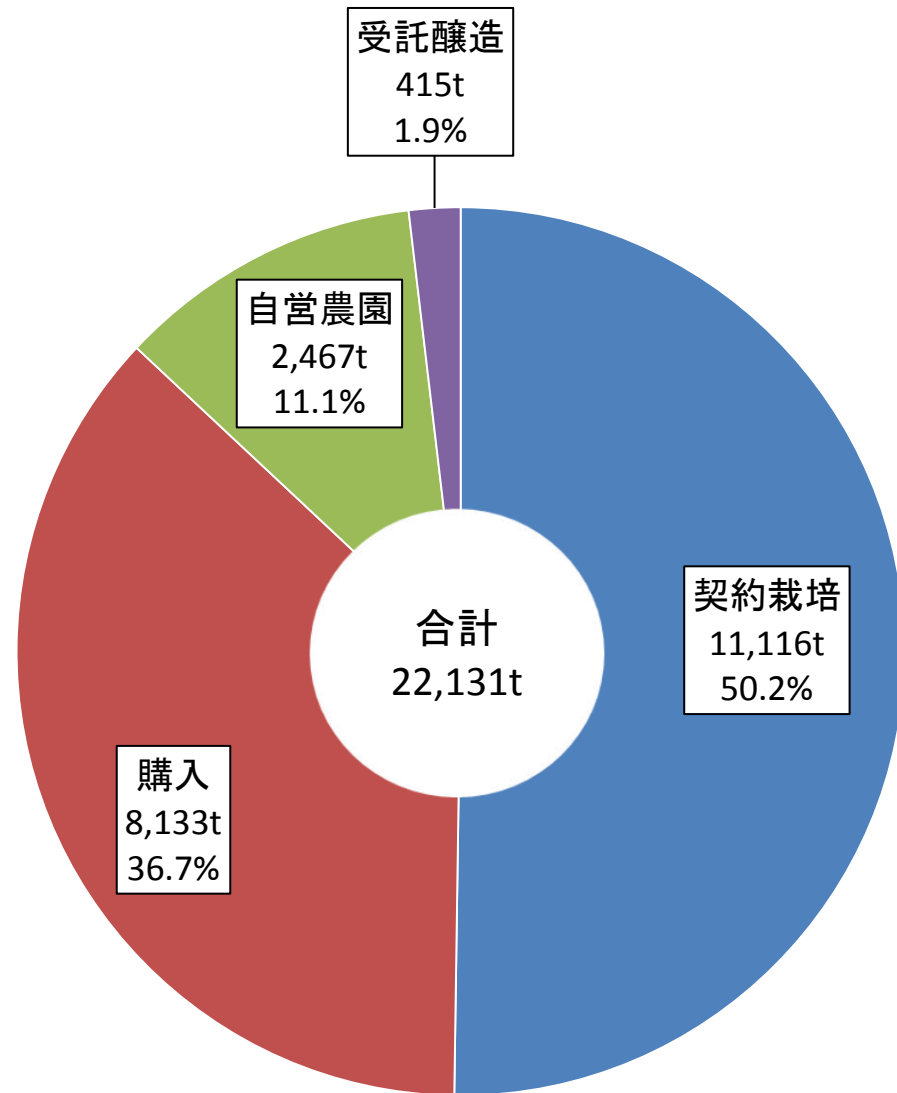
○ 都道府県別ワイン原料用国産生ぶどうの受入状況

(単位:t)

ぶどう産地	ワイン原料用ぶどう生産量 (受入元の産地別)	自県ワイナリーの受入数量 (ワイナリー所在地別)	他県ワイナリーの受入数量	受入先の都道府県									
				長野	岡山	新潟	京都	栃木	滋賀	石川	大阪		
山梨	(100%) 6,973	(85.9%) 5,988	(14.1%) 985	長野 166	岡山 151	新潟 133	京都 ×	栃木 82					
長野	(100%) 5,656	(89.1%) 5,040	(10.9%) 616	山梨 497	栃木 35	京都 ×	新潟 21	滋賀 ×					
北海道	(100%) 3,124	(90.7%) 2,833	(9.3%) 292	岡山 140	長野 68	山梨 38	栃木 27	石川 ×					
山形	(100%) 2,688	(56.8%) 1,526	(43.2%) 1,162	山梨 326	北海道 218	岩手 115	栃木 86	大阪 80					
岩手	(100%) 706	(86.2%) 608	(13.8%) 98	北海道 70	滋賀 ×	岡山 6	大阪 5	新潟 5					
新潟	(100%) 399	(99.2%) 396	(0.8%) 3	岩手 2	山形 1	-	-	-	-				
全国計	(100%) 22,131	(83.2%) 18,421	(16.8%) 3,710										

(注) この表は、各ワイナリーから提出された「ワイン原料用国産生ぶどうの受入数量」を産地別に集計したものである。

○ ワイン原料用国産生ぶどうの受入形態別受入数量構成比



○ 生産規模別ぶどう受入形態別製造場数

(単位:場)

受入形態	生産規模				計
	~100kl	~300kl	~1,000kl	1,000kl~	
自営農園	58				58
契約栽培	42	10	4	6	62
受託醸造	8				8
購入	69	11	8	1	89
合計	177	21	12	7	217

(注) 1 複数の形態で原料を受け入れている場合、各業者の受入数量が最も多い受入形態に1場として計上している。

2 国産生ぶどうの受入れがない製造場が27場ある。

(参考1)

○ 果実酒の都道府県ランキング(上位10位)

順位	生産量			出荷量			販売(消費)数量	
		ワイン			ワイン			1人当たり
			日本ワイン			日本ワイン		
1	神奈川県	神奈川県	山梨県	神奈川県	神奈川県	山梨県	東京都	東京都
2	栃木県	栃木県	長野県	栃木県	山梨県	長野県	神奈川県	山梨県
3	山梨県	山梨県	北海道	山梨県	栃木県	北海道	大阪府	京都府
4	岡山県	岡山県	山形県	岡山県	岡山県	山形県	埼玉県	神奈川県
5	長野県	長野県	岩手県	大阪府	長野県	岩手県	千葉県	大阪府
6	北海道	北海道	新潟県	長野県	北海道	新潟県	北海道	沖縄県
7	青森県	山形県	岡山県	北海道	千葉県	岡山県	愛知県	北海道
8	千葉県	岩手県	宮崎県	千葉県	山形県	宮崎県	福岡県	長野県
9	山形県	愛知県	島根県	静岡県	岩手県	京都府	兵庫県	宮城県
10	静岡県	新潟県	兵庫県	青森県	愛知県	大阪府	京都府	和歌山県

(注) 1 果実酒のうち、ぶどう(濃縮果汁を含む。)を原料とした果実酒を「ワイン」として表記している。

2 国税庁統計年報書(平成28年度速報値)による果実酒の製成数量(生産量)、課税移出数量(出荷量)及び販売(消費)数量の都道府県別順位である。ただし、「ワイン」及び「日本ワイン」については、果実酒製造業者実態調査(平成28年度調査分)による。

(参考2) 果実酒製造業者実態調査の都道府県別対象者(場)及び回答者(場)数

局名	都道府県別	製造免許場						製造免許者						
		果実酒製造免許場数				実態調査対象場数	回答場数	果実酒製造免許者数				実態調査対象者数	回答者数	
		内試験免許	内ぶどう原料無	内休造等	者			者	者	者				
札幌	北海道	48	10	2	2	34	26	43	8	2	1	32	25	
仙台	青森	10	3	4	-	3	-	8	3	3	-	2	-	
	岩手	12	1	2	3	6	6	12	1	2	3	6	6	
	宮城	2	-	-	-	2	2	2	-	-	-	2	2	
	秋田	6	2	-	-	4	3	6	2	-	-	4	3	
	山形	16	1	1	-	14	11	16	1	1	-	14	11	
	福島	7	1	-	1	5	4	7	1	-	1	5	4	
	計	53	8	7	4	34	26	51	8	6	4	33	26	
関東信越	茨城	11	4	-	4	3	3	7	2	-	3	2	2	
	栃木	10	3	-	-	7	7	7	1	-	-	6	6	
	群馬	7	1	1	1	4	4	7	1	1	1	4	4	
	埼玉	7	1	-	2	4	3	7	1	-	2	4	3	
	新潟	18	5	1	2	10	9	17	5	1	1	10	9	
	長野	44	5	4	1	34	33	37	4	3	1	29	28	
	計	97	19	6	10	62	59	82	14	5	8	55	52	
東京	千葉	9	1	1	3	4	3	7	1	-	3	3	2	
	東京	14	11	-	1	2	2	36	19	1	8	8	8	
	神奈川	12	7	-	3	2	1	1	-	-	-	1	-	
	山梨	89	2	-	6	81	68	75	2	-	4	69	57	
	計	124	21	1	13	89	74	119	22	1	15	81	67	
金沢	富山	5	1	-	2	2	2	5	1	-	2	2	2	
	石川	6	3	1	-	2	2	6	3	1	-	2	2	
	福井	2	1	-	-	1	1	2	1	-	-	1	1	
	計	13	5	1	2	5	5	13	5	1	2	5	5	
名古屋	岐阜	14	6	1	4	3	2	10	3	1	4	2	1	
	静岡	12	3	1	5	3	1	8	1	1	3	3	1	
	愛知	14	3	1	7	3	3	15	3	-	7	5	5	
	三重	5	1	-	3	1	1	4	1	-	2	1	1	
		計	45	13	3	19	10	7	37	8	2	16	11	8
大阪	滋賀	3	1	-	-	2	2	3	1	-	-	2	2	
	京都	5	2	1	-	2	2	5	2	1	-	2	2	
	大阪	19	7	3	2	7	7	16	7	1	1	7	7	
	兵庫	10	2	5	1	2	2	9	2	3	1	3	3	
	奈良	3	2	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
	和歌山	7	1	4	1	1	1	7	1	4	1	1	1	
		計	47	15	14	4	14	14	41	13	9	4	15	15
	広島	鳥取	5	3	-	-	2	2	4	2	-	-	2	2
		島根	6	2	1	-	3	3	6	2	1	-	3	3
		岡山	12	4	2	-	6	6	11	4	2	-	5	5
広島		13	5	3	-	5	4	13	5	3	-	5	4	
山口		1	-	-	-	1	1	1	-	-	-	1	1	
	計	37	14	6	-	17	16	35	13	6	-	16	15	
高松	徳島	3	1	1	1	-	-	3	1	1	1	-	-	
	香川	2	1	-	-	1	1	2	1	-	-	1	1	
	愛媛	4	3	-	-	1	1	4	3	-	-	1	1	
	高知	2	1	-	-	1	1	2	1	-	-	1	1	
	計	11	6	1	1	3	3	11	6	1	1	3	3	
福岡	福岡	9	6	1	1	1	1	8	5	1	-	2	2	
	佐賀	2	2	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	
	長崎	3	2	-	-	1	1	3	2	-	-	1	1	
	計	14	10	1	1	2	2	13	9	1	-	3	3	
熊本	熊本	7	3	1	1	2	2	6	3	1	-	2	2	
	大分	8	1	-	2	5	5	7	1	-	1	5	5	
	宮崎	7	3	-	-	4	3	7	3	-	-	4	3	
	鹿児島	2	-	-	1	1	1	2	-	-	1	1	1	
	計	24	7	1	4	12	11	22	7	1	2	12	11	
沖縄	沖縄	7	4	2	-	1	1	6	3	2	-	1	1	
	全国計	520	132	45	60	283	244	473	116	37	53	267	231	

(注) 1 製造免許場数及び製造免許者数(内書の試験免許を含む。)は、国税庁統計年報書(平成28年速報値)による。

ただし、他の酒類において試験製造免許以外の免許を有している製造者が、果実酒製造免許は試験製造免許のみを有している場合は、試験製造免許者として集計している。

2 調査対象者は、果実酒製造業者のうち、①試験製造免許者、②ぶどうを原料とした果実酒を製造していない者、③果実酒の製成及び課税移出入又は売上高がない者を除いた者である。

3 回答場数及び回答者数は、果実酒製造業者実態調査(平成28年度調査分)に回答があった者の数である。

(参考3)ワインの都道府県別生産量・出荷量

局名	都道府県別	製造場数 (回答場数)	生産量		出荷量	
			内 日本ワイン	内 日本ワイン	内 日本ワイン	内 日本ワイン
札幌	北海道	34 (26)	2,819	2,495	3,177	2,437
仙台	青森	3 (-)	-	-	-	-
	岩手	6 (6)	628	600	644	634
	宮城	2 (2)	×	×	×	×
	秋田	4 (3)	7	7	7	7
	山形	14 (11)	1,239	1,200	1,212	1,000
	福島	5 (4)	25	22	26	10
	計	34 (26)	×	×	×	×
関東信越	茨城	3 (3)	9	9	19	19
	栃木	7 (7)	24,556	200	24,119	212
	群馬	4 (4)	17	15	133	19
	埼玉	4 (3)	135	69	220	142
	新潟	10 (9)	464	461	395	392
	長野	34 (33)	4,467	3,720	4,362	3,281
	計	62 (59)	29,648	4,474	29,247	4,064
東京	千葉	4 (3)	1	1	2,742	0
	東京	2 (2)	×	×	×	×
	神奈川	2 (1)	×	×	×	×
	山梨	81 (68)	13,858	5,510	27,120	5,422
	計	89 (74)	44,153	5,539	82,894	5,482
金沢	富山	2 (2)	×	×	×	×
	石川	2 (2)	×	×	×	×
	福井	1 (1)	×	×	×	×
	計	5 (5)	171	171	159	159
名古屋	岐阜	3 (2)	×	×	×	×
	静岡	3 (1)	×	×	×	×
	愛知	3 (3)	489	7	503	6
	三重	1 (1)	×	×	×	×
	計	10 (7)	538	56	622	50
局名	都道府県別	製造場数 (回答場数)	生産量		出荷量	
			内 日本ワイン	内 日本ワイン	内 日本ワイン	内 日本ワイン
大阪	滋賀	2 (2)	×	×	×	×
	京都	2 (2)	×	×	×	×
	大阪	7 (7)	159	157	301	216
	兵庫	2 (2)	×	×	×	×
	奈良	- (-)	-	-	-	-
	和歌山	1 (1)	×	×	×	×
	計	14 (14)	798	648	1,015	759
広島	鳥取	2 (2)	×	×	×	×
	島根	3 (3)	239	239	200	200
	岡山	6 (6)	4,669	342	7,010	326
	広島	5 (4)	138	137	194	119
	山口	1 (1)	×	×	×	×
	計	17 (16)	5,081	753	7,469	704
高松	徳島	- (-)	-	-	-	-
	香川	1 (1)	×	×	×	×
	愛媛	1 (1)	×	×	×	×
	高知	1 (1)	×	×	×	×
計	3 (3)	32	26	26	25	
福岡	福岡	1 (1)	×	×	×	×
	佐賀	- (-)	-	-	-	-
	長崎	1 (1)	×	×	×	×
計	2 (2)	×	×	×	×	
熊本	熊本	2 (2)	×	×	×	×
	大分	5 (5)	128	122	80	76
	宮崎	4 (3)	336	336	283	283
	鹿児島	1 (1)	×	×	×	×
計	12 (11)	582	575	478	458	
沖縄	沖縄	1 (1)	×	×	×	×
全国計		283 (244)	85,794	16,638	127,045	15,849

(注)1 果実酒製造業者実態調査(平成28年度調査分)に回答のあった製造場のぶどう(濃縮果汁を含む。)を原料とした果実酒の製成数量(生産量)及び課税移出数量(出荷量)である。

2 「×」は、情報を保護する観点から数値を秘匿したものである。

(参考4)都道府県別のぶどう品種別受入数量の明細

局名	都道府県別	製造場数 (回答場数)	甲州	マスカット ベリー-A	ナイアガラ	コンコード	デラウェア	メルロ	シャルドネ	キャンベル アーリー	巨峰	カベルネ ソーヴィニ オン
札幌	北海道	34 (26)	-	-	898	-	214	21	37	690	-	1
仙台	青森	3 (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岩手	6 (6)	-	49	122	-	33	44	8	221	-	21
	宮城	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	秋田	4 (3)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	山形	14 (11)	30	372	165	-	367	67	174	4	-	21
	福島	5 (4)	2	13	-	-	4	1	1	1	-	0
計	34 (26)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
関東信越	茨城	3 (3)	-	1	-	-	-	1	-	-	2	-
	栃木	7 (7)	49	36	3	-	4	39	36	2	3	22
	群馬	4 (4)	-	8	-	-	5	0	1	-	3	-
	埼玉	4 (3)	43	39	-	-	-	3	1	-	1	1
	新潟	10 (9)	28	195	-	-	33	96	74	1	0	33
	長野	34 (33)	51	274	1,264	1,865	16	511	264	8	223	55
計	62 (59)	171	552	1,267	1,865	58	651	376	12	233	111	
東京	千葉	4 (3)	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	東京	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	神奈川	2 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	山梨	81 (68)	3,128	1,524	182	30	416	367	301	28	135	148
計	89 (74)	3,128	1,527	184	30	428	372	306	28	136	150	
金沢	富山	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	石川	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	福井	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
計	5 (5)	11	61	11	-	-	19	29	1	-	3	
名古屋	岐阜	3 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	静岡	3 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	愛知	3 (3)	-	3	-	-	1	1	3	-	-	1
	三重	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
計	10 (7)	23	9	4	-	2	5	11	-	-	3	

局名	都道府県別	製造場数 (回答場数)	甲州	マスカット ベリー-A	ナイアガラ	コンコード	デラウェア	メルロー	シャルドネ	キャンベル アーリー	巨峰	カベルネ ソーヴィニ オン
大阪	滋賀	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	京都	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	大阪	7 (7)	8	34	18	1	84	25	10	10	-	10
	兵庫	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	奈良	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	和歌山	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
計	14 (14)	19	133	64	1	233	139	113	10	8	86	
広島	鳥取	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	島根	3 (3)	93	78	-	-	-	13	16	-	-	5
	岡山	6 (6)	82	89	-	-	8	3	9	2	6	1
	広島	5 (4)	0	66	-	-	8	14	32	-	-	0
	山口	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
計	17 (16)	182	256	-	-	16	29	58	2	7	7	
高松	徳島	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	香川	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	愛媛	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
計	3 (3)	1	12	0	-	2	-	-	-	3	-	
福岡	福岡	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	佐賀	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	長崎	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
計	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
熊本	熊本	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	大分	5 (5)	1	41	19	-	25	15	43	3	-	1
	宮崎	4 (3)	2	72	55	-	52	7	31	196	1	3
	鹿児島	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
計	12 (11)	3	140	88	-	104	21	115	214	8	9	
沖縄	沖縄	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
全国計	283 (244)	3,574	3,152	2,812	1,896	1,473	1,376	1,229	1,185	416	413	

(注)1 果実酒製造業者実態調査(平成28年度調査分)に回答のあった製造場が受け入れた各ぶどう品種の数量である。

2 「×」は、情報を保護する観点から数値を秘匿したものである。

(参考5)ぶどう産地別 製造場所在地別 原料ぶどう受入量 (国税局管轄区域別)

単位:t

ぶどう産地 製造場所在地	札幌	仙台		関東信越		東京	金沢	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	熊本	沖縄	ワイン原料 ぶどう使用量
		内 岩手	内 山形	内 新潟	内 長野										
札幌	2,833	288		-		22	75	-	-	-	-	-	40	-	3,258
		70	218	-	-	22									
仙台	-	2,415		7		56	-	-	-	-	-	-	-	-	2,478
内 岩手	-	608	115	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	798
内 山形	-	-	1,526	1	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-	1,580
関東信越	104	170		5,560		478	28	3	2	-	-	-	-	-	6,344
内 新潟	9	5	64	396	21	133	26	-	-	-	-	-	-	-	657
内 長野	68	-	12	-	5,040	166	2	3	2	-	-	-	-	-	5,292
東京	38	467		500		5,994	3	5	4	2	1	-	-	-	7,014
内 山梨	38	2	326	-	497	5,988	3	5	4	1	1	-	-	-	6,977
金沢	10	12		1		20	191	-	-	-	-	-	-	-	233
		-	12	-	1	20									
名古屋	-	-		4		28	-	56	20	9	-	-	-	-	117
		-	-	-	4	28									
大阪	-	235		48		125	1	0	494	7	11	-	-	-	921
		15	220	-	48	125									
広島	140	23		-		167	-	-	2	586	2	1	-	-	921
		6	8	-	-	167									
高松	-	-		-		-	-	-	-	-	39	-	-	-	39
		-	-	-	-	-									
福岡	×	×		×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		×	×	×	×	×									
熊本	-	78		9		70	-	-	-	-	4	2	599	-	761
		-	44	-	9	70									
沖縄	×	×		×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		×	×	×	×	×									
ぶどう生産量	3,124	3,688		6,130		6,980	298	63	522	604	57	27	639	-	22,131
		706	2,688	399	5,656	6,973									

(注)1 各都道府県で生産されたぶどうの各都道府県での使用量を国税局管轄区域別に集計したものである(果実酒製造業者実態調査(平成28年度調査分)による。)

2 内書の合計欄は、当該県で生産されたぶどうの量又は当該県でワイン原料として使用されたぶどうの量であり、縦・横の合計値とは一致しない。

3 「×」は、情報を保護する観点から数値を秘匿したものである。

(参考6)ぶどう品種別受入形態の明細及び主要産地

品種名		受入形態										合計	主要産地	
		自営農園			契約栽培			購入	受託醸造				都道府県	数量
		計	棚	垣根	計	棚	垣根		計	棚	垣根			
白 ワ イ ン 用 品 種	甲州	142	129	13	1,500	1,500	0	1,865	66	63	3	3,574	山 梨	3,426
	竜眼(善光寺)	5	5	-	118	118	-	54	-	-	-	177	長 野	177
	ナイアガラ	83	83	-	1,733	1,733	-	977	19	17	2	2,812	長 野	1,298
	デラウェア	64	64	0	256	256	-	1,134	20	20	-	1,473	山 形	751
	シャルドネ	318	58	260	733	348	386	165	12	3	9	1,229	長 野	411
	ケルナー	27	7	20	244	15	229	31	9	-	9	310	北 海 道	259
	ミュラートウルガウ	20	-	20	57	4	53	3	1	-	1	80	北 海 道	73
	バッカス	9	0	9	41	1	40	-	1	-	1	52	北 海 道	52
	リースリング・リオン	6	0	5	10	3	7	69	1	-	1	86	岩 手	83
	ソーヴィニオン・ブラン	65	5	60	63	15	48	25	5	2	3	159	長 野	96
	ピノブラン(ヴァイスブルグンダー)	22	2	21	19	17	2	-	-	-	-	41	山 形	16
	ピノグリ	17	2	15	0	0	0	-	6	-	6	23	北 海 道	16
	ゲヴェルトツラミネール	12	-	12	0	-	0	-	0	-	0	13	北 海 道	11
セイベル9110	8	3	5	186	160	26	50	0	-	0	244	山 形	113	
セイベル5279	-	-	-	22	-	22	-	-	-	-	22	北 海 道	22	
赤 ワ イ ン 用 品 種	マスカット・ベリーA	182	174	8	1,281	1,240	41	1,656	33	33	0	3,152	山 梨	1,986
	巨峰	18	18	-	33	33	-	351	15	15	-	416	長 野	239
	コンコード	75	75	-	1,639	1,631	7	182	0	0	-	1,896	長 野	1,894
	キャンベル・アーリー	30	21	8	551	551	-	602	2	-	2	1,185	北 海 道	619
	メルロ	379	61	318	768	417	351	217	12	5	8	1,376	長 野	687
	カベルネ・ソーヴィニオン	142	14	128	210	90	120	59	2	0	2	413	山 形	96
	ツヴァイゲルト	46	3	42	173	4	169	14	10	-	10	243	北 海 道	201
	ヤマソービニオン	50	13	36	131	15	117	143	15	13	1	339	石 川	105
	ヤマブドウ	15	10	5	133	61	72	87	38	6	32	273	岩 手	124
	セイベル13053(清見)	6	-	6	65	3	62	27	4	-	4	102	北 海 道	79
	山幸	46	-	46	25	-	25	-	1	-	1	72	北 海 道	72
	ブラック・クイーン	85	84	1	198	198	-	46	0	0	-	329	長 野	184
	カベルネ・フラン	36	11	25	17	10	7	5	1	1	-	58	長 野	24
	ピノ・ノワール	94	20	73	39	8	31	16	27	1	26	175	北 海 道	74
	プティ・ヴェルド	23	9	14	3	2	0	2	-	-	-	28	山 梨	18
	シラー	39	10	29	16	4	12	2	-	-	-	57	長 野	27
アジロンダック	4	4	-	84	84	-	24	9	9	-	121	山 梨	121	
甲斐ノワール	4	4	-	31	31	1	8	4	2	2	47	山 梨	42	

(注) 果実酒製造業者実態調査(平成28年度調査分)で把握した全国のワイナリーが受け入れたぶどうの品種別数量である。

(参考7)ワイン製造業者の製成数量規模別経営状況及び製成移出状況

(平成29年1月1日直前終了事業年度分)

項目	製成数量規模				
	合計	100kl未満	300kl未満	1,000kl未満	1,000kl以上
企業数	231	190	23	11	7
欠損及び低収益企業数	85	82	3	-	-
割合	36.8%	43.2%	13.0%	-	-
低収益企業数	28	28	-	-	-
割合	12.1%	14.7%	-	-	-
欠損企業数	57	54	3	-	-
割合	24.7%	28.4%	13.0%	-	-
売上高	百万円 2,749,142	百万円 139,976	百万円 70,708	百万円 634,285	百万円 1,904,174
ワイン製造業	98,255	8,944	8,873	16,534	63,904
日本ワイン	26,346	6,049	6,039	4,775	9,483
売上原価	1,700,140	99,432	41,564	354,641	1,204,502
ワイン製造業	64,000	5,080	5,413	10,425	43,083
原料費	5,915	1,534	1,487	1,298	1,596
売上総利益	1,049,003	40,544	29,144	279,644	699,672
ワイン製造業	34,254	3,864	3,461	6,109	20,820
販売費・一般管理費	838,975	37,821	25,006	232,768	543,379
ワイン製造業	28,933	3,647	2,972	5,842	16,473
営業利益	210,027	2,723	4,137	46,875	156,292
ワイン製造業	5,321	217	489	267	4,348
税引前利益	219,284	3,109	4,367	51,106	160,703
売上高売上原価率	61.8%	71.0%	58.8%	55.9%	63.3%
ワイン製造業	65.1%	56.8%	61.0%	63.0%	67.4%
原料費率	6.0%	17.1%	16.8%	7.9%	2.5%
売上高売上総利益率	38.2%	29.0%	41.2%	44.1%	36.7%
ワイン製造業	34.9%	43.2%	39.0%	37.0%	32.6%
売上高販売費・一般管理	30.5%	27.0%	35.4%	36.7%	28.5%
ワイン製造業	29.4%	40.8%	33.5%	35.3%	25.8%
売上高営業利益率	7.6%	1.9%	5.9%	7.4%	8.2%
ワイン製造業	5.4%	2.4%	5.5%	1.6%	6.8%
売上高税引前利益率	8.0%	2.2%	6.2%	8.1%	8.4%

(平成28年度分)

項目	製成数量規模				
	合計	100kl未満	300kl未満	1,000kl未満	1,000kl以上
企業数	231	190	23	11	7
使用原料	t 79,818	t 5,236	t 5,843	t 7,489	t 61,250
国産原料	22,036	5,126	5,080	5,647	6,183
生ぶどう	20,671	4,989	4,858	4,738	6,086
その他	1,365	137	222	909	97
輸入原料	57,782	110	762	1,843	55,067
濃縮果汁	57,642	105	674	1,797	55,067
その他	140	6	88	46	-
製成数量	kl 85,794	kl 3,829	kl 4,268	kl 5,954	kl 71,743
日本ワイン	16,638	3,640	3,761	3,811	5,427
輸入数量	47,287	3,407	8,248	506	35,126
未納税	23,332	2,770	716	506	19,340
課税	23,955	637	7,532	-	15,786
販売数量	130,852	8,005	13,888	6,437	102,522
課税	127,045	7,751	13,178	6,088	100,028
日本ワイン	15,849	3,596	3,583	3,435	5,235
未納税	3,745	243	690	329	2,483
輸出	62	11	20	20	11

- (注) 1 果実酒製造業者実態調査(平成28年度調査分)による。
 2 低収益企業とは、税引前純利益が0から50万円未満の企業をいう。
 3 「ワイン製造業」の欄は、ぶどう(濃縮果汁を含む。)を原料とした果実酒(以下「ワイン」という。)に係る売上高等の金額である。
 4 濃縮果汁の重量は、糖度20度に換算した重量(推計)である。
 5 製成数量、輸入数量及び販売数量は、ワインの数量である。
 6 未納税の輸入数量については、酒類の原料及び自己の製造した酒類と混和してさらに移出するために輸入したワインの数量であり、課税の輸入数量については、そのまま販売容器に充填して移出するために輸入したワインの数量である。